

第2期

西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

【概要版】

令和2年2月

西脇市

I はじめに

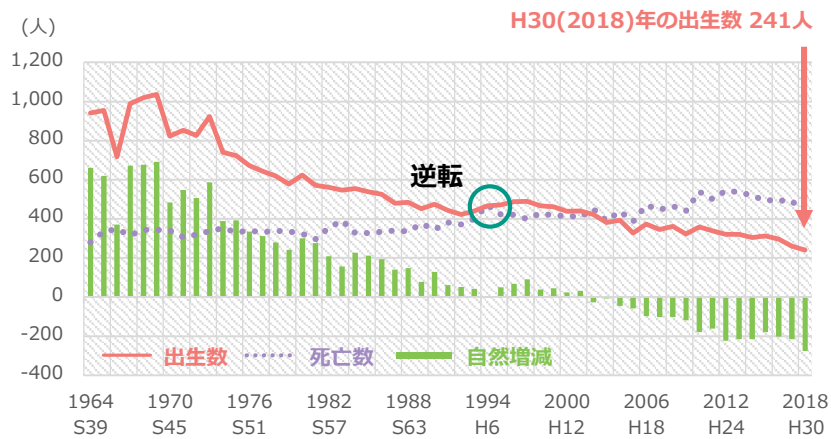
総合戦略とは

西脇市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口ビジョンにおける人口の現状分析や将来展望、国の方針を踏まえ、令和2（2020）年度を初年度とする今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。各事業を推進することにより、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある地域社会を実現することを目的としています。

本市の人口動態の特徴

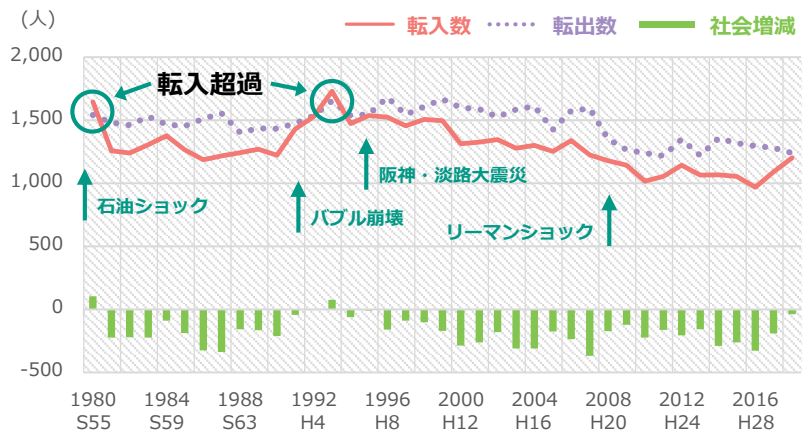
自然動態

- 合計特殊出生率は高い水準を維持しており、平成27（2015）年国勢調査では1.68となっています。
- 出生数は、平成28（2016）年度に300人を下回って以降も減少が続いており、平成30（2018）年度には241人となっています。
- 高齢化の進行に伴って死亡数が増加しており、平成30（2018）年度には517人となっています。



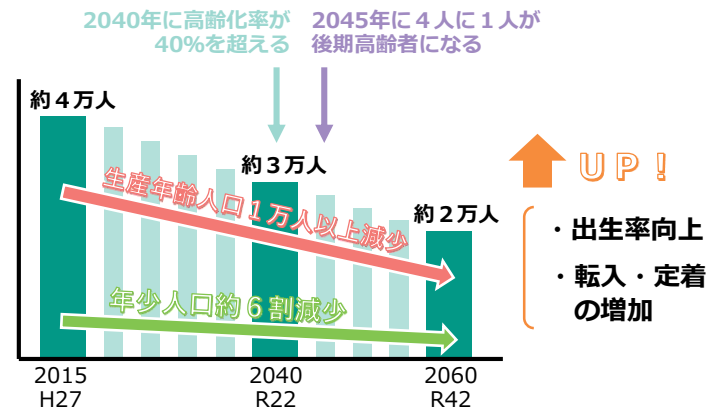
社会動態

- 景気の拡大期に転出超過が増加し、後退期には転出入が均衡する傾向にありますが、平均して200人あまりの転出超過が継続しています。
- 近年は20～40歳代、特に女性の転出超過が拡大しています。また、外国人労働者などの受入れなどが進んだことから、近年は転出超過が縮小しています。



人口の推計と将来展望

- 従来からの社会減に加えて、少子高齢化の進行に伴う自然減が加わり、人口減少が加速しています。
- 社人研の推計では、平成27（2015）から令和22（2040）年の25年間で約1万人減少することが見込まれています。
- 令和22（2040）年までに合計特殊出生率1.8を実現するとともに、毎年度25人の新規転入・定着を創出することで、令和42（2060）年に22,500人を維持することを目指します。



Ⅱ 総合戦略の概要



総合戦略の概要

ビジョン

地域産業が活性化され、全ての世代がいきいきと暮らし、活躍できるまち

ターゲット

第1期総合戦略を引き継ぎ、市から流出した20～40歳代の若い世代や今後流出が懸念される若年世代、あるいは地域が必要とする新たな外部人材を主なターゲットとして定めます。
さらに、それぞれの地域においていきいきと暮らし、地域づくりに取り組む全ての世代をターゲットとします。

計画期間

令和2（2020）年度



令和6（2024）年度

基本目標と体系

基本目標 1

未来をひらく『ひとづくり』の循環サイクルを構築します

- ① 出会いから結婚を、そして妊娠から出産を支援します
- ② 地域で育む子育て環境を充実し、生まれ育った若者のUターンを促進します
- ③ 地域に活力を生み出す新たな人材のI・Jターンを促進します
- ④ 情報発信を進め、良好な都市イメージの定着を図ります

基本目標 2

活力みなぎる『しごとづくり』に取り組めます

- ① 地域に活力を生む商工業を振興します
- ② 地域特性を生かした農業を振興します
- ③ 地域経済に貢献する観光交流活動を生み出します

基本目標 3

魅力あふれる『まちの元気づくり』に取り組めます

- ① 『ひとの元気づくり』を進めます
- ② 『まちなかの元気づくり』を進めます
- ③ 『地域の元気づくり』を進めます

Ⅲ 総合戦略の体系と施策の展開

基本目標1 未来をひらく『ひとつくり』の循環サイクルを構築します

地元で根ざして暮らす、都市部で新たな生活を始める。若者のそれぞれの希望を後押しするとともに、たとえ地元を離れても、ふるさとに愛着を感じ、自身が育ったまちで子育てをしたいと思い、帰ってくる、そのような流れ（サイクル）の創出を目指します。また、このようなサイクルがあるまちには、本市以外で育ってきた人たちも惹かれ、そのサイクルへと自然と組み込まれ、新たなサイクルを形成していく、そのような好循環の創出を目指します。

数値目標	単位	区分	基準点・期間	基準値	目標値
合計特殊出生率（国勢調査）	—	単年	H27.10	1.68	1.75
出生数（15～44歳女性人口1,000人当たり）	人	単年	H30年度	40.1	50
0～40歳代転出超過数	人	単年	H28-30年平均	193	150
移住・定住者数	人	累計	H30年度	42	185

① 出会いから結婚を、そして妊娠から出産を支援します

- 結婚活動等を支援します
- 次代の親を育成します
- 安全・安心な妊娠・出産環境を整えます

② 地域で育む子育て環境を充実し、生まれ育った若者のUターンを促進します

- 子育ての経済的負担を軽減します
- 子育てに寄り添う支援体制を整えます
- 地域で子育てを支えます
- 教育環境を充実します
- ワーク・ライフ・バランスを推進します
- 安全で快適な住環境を整えます

③ 地域に活力を生み出す新たな人材のI・Jターンを促進します

- 多様な産業人材の誘致・育成を推進します
- 地域特性を生かしたI・Jターンを推進します
- 若者の活躍を応援します

④ 情報発信を進め、良好な都市イメージの定着を図ります

- シティプロモーションを推進します
- 郷土愛を醸成します



基本目標2 活力みなぎる『しごとづくり』に取り組めます

本市の歴史とともに培ってきた地域資源を生かすことを基本に、外部の人材や資源を効果的に活用し、その価値を高め、あるいは新たな価値を創出する取組を促進することで、ひとづくりの循環サイクルを支える経済的基盤の充実を目指します。

数値目標	単位	区分	基準点・期間	基準値	目標値
就業者1人当たり市内総生産	万円/人	単年	H29年度	682	703
労働生産性（製造業）	万円/人	単年	H29年	1,407	1,543

① 地域に活力を生む商工業を振興します

- 西脇ファッション都市構想を推進します
- 新たな産業を創出します
- 地域に根ざした事業者を支援します

② 地域特性を生かした農業を振興します

- 担い手の育成・確保を図ります
- 地産地消・地産外消を推進します

③ 地域経済に貢献する観光交流活動を生み出します

- 地域資源を生かした観光交流を推進します
- 観光交流の新たな展開を推進します





基本目標3 魅力あふれる『まちの元気づくり』に取り組みます

まちの中心部に都市機能をコンパクトに集約し、生活機能の維持とにぎわいの創出を図るとともに、周辺の地域との連絡を強化することで、まち全体の元気づくりにつなげていくこと、そして、誰もがいきいきと暮らし、輝ける地域社会の実現を目指していきます。

数値目標	単位	区分	基準点・期間	基準値	目標値
日頃から健康に暮らしていると 感じている市民の割合	%	単年	H30.12	78.1	80
市街化区域内に住んでいる市民の割合	%	時点	H30.4	47.9	51

① 『ひとの元気づくり』を進めます

- 健幸都市の実現を目指します
- 生涯にわたりスポーツ・文化に親しむ環境を整えます

② 『まちなかの元気づくり』を進めます

- 市庁舎・市民交流施設を整備します
- まちなかににぎわいを創出します
- にぎわい・交流の基盤となる道路を整備します
- まちなか循環バスを導入します

③ 『地域の元気づくり』を進めます

- 持続可能なコミュニティづくりを支援します
- デマンド型交通を導入します